

他の教師との協力的な指導

1 学年主任や副担任の先生と

学年主任や副担任等、その学級の児童生徒と関わりの深い教師がT2として指導にあたる方法です。ディベート的な活動やグループエンカウンターを行う場合、また、学級に個別に指導が必要な児童生徒が在籍する場合等、さまざまな方法が考えられます。ねらいや方法に応じて、T1, T2の役割分担を明確にして行うことがポイントです。



役割分担を
明確にね！

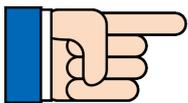


2 養護教諭、栄養教諭と

養護教諭や栄養教諭が、ねらいを明確しその専門性を生かして、T2として指導にあたる方法です。例えば、健康や安全、節度のある生活、望ましい生活習慣、心身の健康、調和のある生活、等の主題を扱う場合に有効と考えられます。



3 推進のポイント



道徳の時間「他の教師との協力的な指導」を進める場合、道徳教育推進教師が中心となって計画を進めることとなりますが、道徳教育推進教師に全てを任せるのではなく、そのリーダーシップや連絡、調整の下で全教師が主体的な参画意識を持ってそれぞれの役割を担うように努めることが重要です。

ぜひ、道徳教育推進教師に協力して自校の道徳教育の充実に努めていただければと思います。